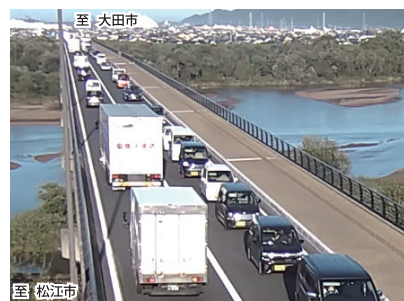


出雲バイパスの整備効果

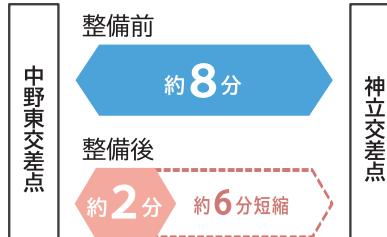
神立～中野東間の整備による効果

01 円滑な交通の確保

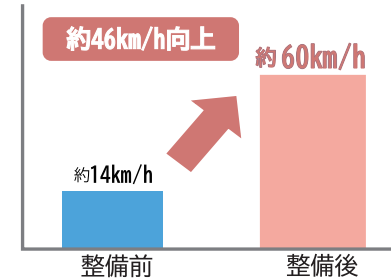
4車線整備により、朝ピーク時間帯における交通渋滞の緩和が期待されます。



【所要時間の変化】



【旅行速度の変化】

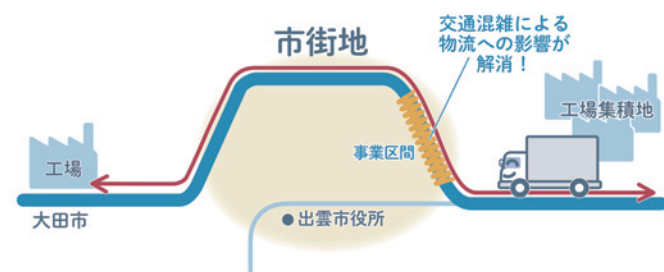


【現況】ETC2.0プローブデータ(R3.4～9平日朝ピーク平均)
【整備後】対象区間は設計速度60km/hで算出

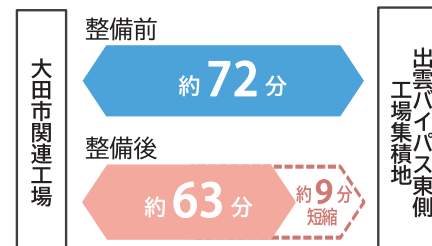
からさで大橋の渋滞状況

02 物流効率化による地域産業の支援

交通混雑の緩和により、製造品の輸送時間が短縮され、地域の産業活動を支援することが期待されます。



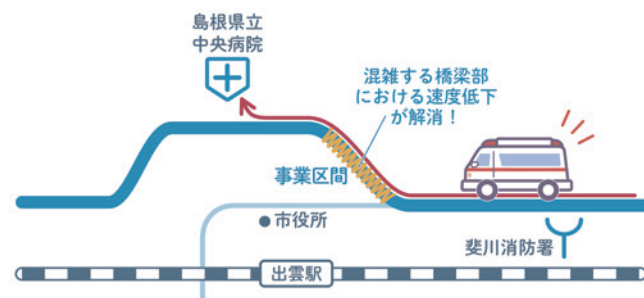
【所要時間の変化】



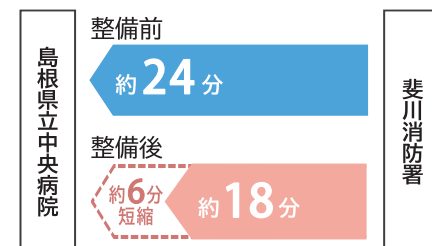
【現況】R3全国道路・街路交通情勢調査(混雑時旅行速度)
対象区間はETC2.0プローブデータ(R3.4～9平日朝ピーク平均)
【整備後】対象区間は設計速度60km/hで算出

03 救急医療活動の円滑化

交通混雑の緩和により、救急患者を迅速に搬送することができ、救急医療活動の円滑化が期待されます。



【搬送時間の変化】



【現況】R3全国道路・街路交通情勢調査(混雑時旅行速度)
対象区間はETC2.0プローブデータ(R3.4～9平日朝ピーク平均)
【整備後】対象区間は設計速度60km/hで算出

出雲
一般国道9号
バイパス

What kind of road is Izumo Bypass?



事業目的

一般国道9号は、京都市を起点として山陰地方の主要都市を結び、山口県下関市に至る総延長724kmの主要幹線道路です。

出雲バイパスは、平成19年（2007年）に全線開通し、並行路線である旧国道9号（現国道184号及び主要地方道出雲大社線）の交通混雑緩和をはじめ、地域の交通環境の改善に貢献してきました。しかしながら、朝ピーク時間帯を中心とした渋滞の発生など、依然として課題も残されています。

そのため、円滑な交通確保、物流効率化による地域産業の支援、救急搬送活動の円滑化を目的に神立～中野東間の延長1.8Kmを令和4年度（2022年）に新規事業化しました。



事業経緯

S49
事業着手

S55.5
都市計画決定 L = 5.6 km
(主) 出雲大社線～斐川町大字富村)

S58.3
都市計画変更 L = 2.3 km
(出雲市高松町～(主) 出雲大社線)

H5
用地買収着手

H7
工事着手

H10.6
地域高規格道路 境港出雲道路
「計画路線」指定

H11.12
地域高規格道路 境港出雲道路「調査区間」指定

H12.12
地域高規格道路 境港出雲道路「整備区間」指定

H13.4
都市計画変更（構造形式の変更）

H19.12
暫定供用

R4
神上～中野東交差点間（4車）を事業化
中野東～姫原東交差点間（4車）完成

標準断面図 (完成時)

